

なかつがわ



平成28年 中津川市議会 12月定例会

国保坂下病院に療養病棟を残し、急性期及び回復期病床を市民病院に集約



目次

- 市民と議会の対話集会を開催しました……………②
- 主な議案……………⑤
- 予算決算委員会報告……………⑨
- 常任委員会報告……………⑪
- 特別委員会報告……………⑫
- 一般質問……………⑬
- 先進都市行政視察報告……………⑰
- 議会活動報告・平成29年3月定例会日程……………⑳

熟慮の末市長運営方針を決断

市長は12月21日、医師不足により従来通りの運営が困難な国保坂下病院について、市の将来に向けてより充実した医療体制を維持するため、以下の方針を発表しました。

入院機能のうち療養病床は残し、急性期と回復期病床は市民病院に集約する。

外来機能は医師確保が可能な診療科を残す。

坂下老人保健施設を坂下病院に移設する。

以上2年後を目途に実施する。

市民からの陳情やご意見、公立病院地域協議会の提言、市議会の病院・医療等対策特別委員会での議論を踏まえたもので、引き続き医師の確保に全力を尽くし、市民病院と共に収支均衡を目指すとなりました。

市民と議会の対話

対話集会の中で市民の皆様からいただいた主なご意見

病院関係

- ▶ 初診者には病院の受付方法が分かりにくい、改善してほしい。
- ▶ 脳疾患は発症から20分以上は命取り、坂下病院まで自宅から20分以内の私は診療所化に反対です。
- ▶ 当市は中学生まで医療費無料など、他市より社会保障が進んでいると思う。自分たちの身を切って財源を捻出し、医師確保や病院経営を考えていくことはできないでしょうか。
- ▶ 医師不足と財政難が最大と判断する。医師情報の担当課は何か、医師確保の専門部署はあるのか。

火葬場関係

- ▶ 火葬場のイメージを良くしてもらいたい。施設近隣には迷惑でも市民に必要である。
- ▶ 市長は火葬場の建設候補地を明言せず、説明を希望する区は、1地区だけであった。
- ▶ 火葬場建設の進捗状況はどうなっているか。



11月8日 坂本会場

リニア中央新幹線関係

- ▶ 車両基地近くがリニアの見える丘公園の候補地だが、公園としての活用が重要だ。車両組立て作業は無理でも、出入りする車両が見えるよう議会でも動いてほしい。
- ▶ 車両基地には従業員が家族を含め3,000名と聞くと、人口減少対策はどうにかならないか。
- ▶ リニア関連の情報提供が無い、駅前整備などを報告してほしい。
- ▶ リニア関連で濃飛横断道が整備されるが、下呂までの一般道の整備促進を望む。

学校関係

- ▶ 学校の無い所に子育て世代のUIターンは無い。地域の継続発展のため、学校の統廃合は考えてもらいたくない。
- ▶ 落合地区も少子化が進み、中学生徒は1学年120名から37名程度に減少し、部活動の内容も限られてきた。子供たちの将来を考えると、人数規模の良し悪しが判らないが、学校の統合をどう進めようとしているのか。
- ▶ 学校規模と教育の充実は関係がないと思う。少人数でも十分な教育を受けることができれば良いことだ。だからあまり学級の人数にこだわらなくてよいと思う。

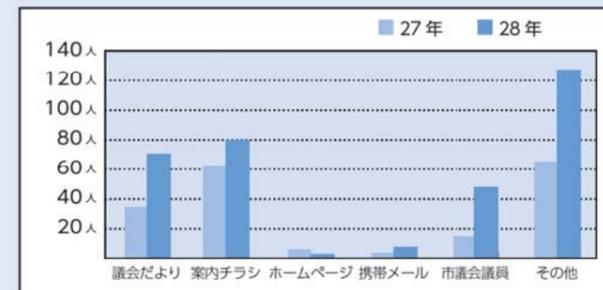
集会を開催しました

今年も多くの皆様にご参加いただき、誠にありがとうございました。多くのご質問、ご意見・ご要望を議会として大切に受け止め、今後の活動に活かしてまいります。



| 開催日 | 会場 | 参加者数 | | | アンケート回収枚数 |
|----------|-----------------|------|----|-----|-----------|
| | | 男 | 女 | 計 | |
| 11月7日(月) | 加子母公民館 | 24 | 1 | 25 | 22 |
| | 馬籠自然休養村センター | 13 | 1 | 14 | 11 |
| | 福岡公民館 | 23 | 4 | 27 | 24 |
| 11月8日(火) | 坂本公民館 | 57 | 2 | 59 | 56 |
| | 苗木公民館 | 26 | 2 | 28 | 22 |
| | 中津川文化会館 | 35 | 1 | 36 | 32 |
| 11月9日(水) | 蛭川公民館 | 42 | 3 | 45 | 43 |
| | かわうえ自然休養村管理センター | 43 | 13 | 56 | 44 |
| | 阿木公民館 | 37 | 4 | 41 | 36 |
| 合計 | | 300 | 31 | 331 | 290 |

開催を知った情報先



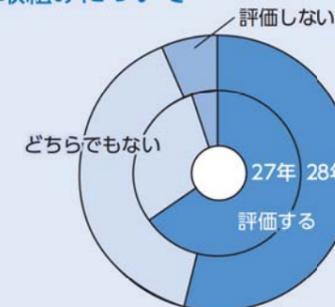
本年から各議員は地元会場に出席とし、市民の皆様に参加呼びかけを行ないました。その結果、出席者が大幅に増加しました。

所要時間について



集会の所要時間は「適当」と答えた人の割合が前年を上回りましたが、同様に「短過ぎた」も多くあり、テーマによっては十分な時間を確保する様ご意見を頂きました。

議会の取組みについて



「議会としての取組み」に厳しい評価を頂きましたが、会場ごとに大きな違いがあり、分析のうえ反省材料とさせていただきます。

内容の理解度



内容について、解りやすかったとの評価を頂きました。今後は「どちらとも言いえない」の減少に更なる研究が必要です。

市民と議会の対話集会を開催しました

空家対策関係

- ▶馬籠峠地区の人口減対策と空き家対策が必要だ。中山道筋で歴史的な家屋など放置されている。
- ▶二人の若者から馬籠の空き家に住居希望があり、所有者と交渉したが仏壇が有ることを理由に断られた、どうしたら良いか。
- ▶空き家が多くなっている。定住促進対策として良い考えはないか。

まちづくり関係

- ▶地域づくりの担当職員の増員など、行政が力を入れてほしい。
- ▶以前は区に200万円程の助成金があった。視察などのため助成金を要望したい。
- ▶福岡公民館同様、苗木公民館の運営をまち協が指定管理で受けることについてどのように思いますか。



11月8日 加子母会場

議会関係

- ▶若い世代が議員になれるよう、報酬額を上げるべきではないか。夜間の議会開催による会社勤めとの両立方法なども検討する必要があるのではないか。
- ▶政務活動費は議員の資質を上げるためのもの。まちづくりでこんなことをやったらどうかなど、提案してほしい。

対話集会アンケートにお答えいただいた主なご意見

- ▶質問・要望が多岐に渡っている、焦点を絞ってはどうか。
- ▶時間を延長し、もう少し内容を濃くした方がよい。
- ▶市議会への要望・意見や提案がもっと出されると良かった。
- ▶今後、医療・福祉などの重要課題について取り組んでもらいたい。
- ▶議員の意見が聞け、今までより良かった。
- ▶年に2回くらいの実施を望む。
- ▶出席者から子どもに対する質問がなかったのが残念でした。
- ▶種々の意見をまとめ、議員提案できるように努力してほしい。
- ▶夜間開催にこだわらず、若い人や女性もたくさん参加でき、市政の事に関心を持てるような企画ができれば良いと感じた。
- ▶年2回開催し、更に参加者の意見が出やすいムードづくりを進めてほしい。



11月9日 川上会場

12月定例会は初日に副市長の選任議案など15議案を原案通り可決し、平成28年度一般会計補正予算など、15議案と請願1件を所管の委員会に付託しました。

22日の最終日は付託した15議案と追加提案の一般会計補正予算など2件、議員提案の意見書1件を原案通り可決し、請願1件を不採択としました。

中津川市副市長の選任同意

(全会一致)

大井久司副市長の任期が平成29年1月3日に満了となりますので、引き続き同氏を選任するものです。



大井久司さん

中津川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正

(賛成多数)

農業委員会等に関する法律の一部改正に伴い、農業委員19名に加え、新たに農地利用最適化推進委員33名の定数を定めるため制定するものです。

中津川市職員の退職手当に関する条例の一部改正

(全会一致)

雇用保険法等の一部改正に伴い、改正するものです。

中津川市スポーツ施設の設置等に関する条例及び中津川市文化スポーツ施設等使用料等徴収条例の一部改正

(全会一致)

中津川市落合石畳マレットゴルフ場の新設と、中津川市蛭川ミニゴルフ場を廃止するため改正するものです。

中津川市発達支援センターの設置等に関する条例の一部改正

(全会一致)

発達支援センターどんぐりの5教室を1ヶ所に統合するため、改正するものです。

中津川市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に係る基準に関する条例の一部改正

(全会一致)

指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準(厚生労働省令)の一部改正に伴い、改正するものです。

中津川市民の歯と口腔の健康づくり条例の制定

(全会一致)

生涯を通じた歯と口腔の健康づくりに関する施策を総合的かつ計画的に推進し、市民の健康の保持及び増進に寄与するため、制定するものです。



指定管理者の指定

(全会一致)

利用者の利便性の向上と施設の活性化を図るため、指定管理するものです。

| 施設名 | 指定先 |
|--------------------------------------|----------------------|
| 中津川市舞台峠テニスコート 加子母B&G海洋センター | 特定非営利活動法人 わくわくプラザ |
| 中津川市福岡公民館 中津川市福岡ふれあい文化センター 常盤座 | ふくおかまちづくり 協議会 |



舞台峠テニスコート

中津川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び中津川市手数料条例の一部改正

(賛成多数)

中津川市の区域内における廃棄物を処理する際の手数料を定めるため、家庭から排出されるごみ(可燃・不燃・大型ごみ)の処理手数料を新たに定め、事業系一般廃棄物及び産業廃棄物の処理手数料を改正するものです。(下表参照)

〈可燃・不燃・大型ごみ等の処理手数料〉

| 1袋販売額(手数料) | 改正前 | 改正後(手数料) |
|----------------|----------|------------------|
| 家庭系可燃(大袋) | 17.33円 | 45円 |
| // (中袋) | 13.00円 | 30円 |
| // (小袋) | 10.40円 | 18円 |
| 家庭系不燃(大袋) | 26.00円 | 45円 |
| // (中袋) | 21.67円 | 30円 |
| // (小袋) | 17.33円 | 18円 |
| 処理費用負担額 | 改正前 | 改正後(手数料) |
| 家庭系大型ごみ(持込・収集) | 0円 | 100円/10kg 500円/個 |
| 事業系廃棄物 | 90円/10kg | 100円/10kg |



〈改正時期〉

| 区 分 | 改正時期 |
|---------------------------------|-----------|
| 家庭系大型ごみ(持込・収集)・事業系廃棄物(大型ごみ) | 平成29年4月1日 |
| 家庭系可燃ごみ・家庭系不燃ごみ・事業系廃棄物(大型ごみ除く。) | 平成29年8月1日 |

地方議会議員の厚生年金への加入を求める意見書

(全会一致可決)

我が国の将来にとって地方創生が重要な政治課題となり、その実現のために責任を有する地方議会の役割は大きく、地方議会議員は住民の意向をくみとり、執行機関の監視や政策提言を的確に行うべく、より一層の努力が求められている。

また、地方議会議員は、議会活動の他にも様々な議員活動を行っており、近年においては専門化の傾向もあるが、統一地方選挙の結果を見ると、投票率が低下傾向にあるとともに無投票当選者の割合が高くなるなど、住民の関心の低さや地方議会議員のなり手不足が深刻な問題となっている。

よって、国民の幅広い層からの政治参加や地方議会における人材確保の観点から、地方議会議員の厚生年金加入のための法整備を早急に実現するよう強く要望する。

以上、地方自治法第99条の規定により意見書を提出する。

平成28年12月22日

中 津 川 市 議 会

(1) 請願の要旨

平成27年3月に策定された「第2次中津川市地域保健医療計画」に基づいて

- ①中津川市民病院、国民健康保険坂下病院の医師をはじめとした医療スタッフを確保すること
- ②国民健康保険坂下病院の病院機能を存続すること
- ③地域医療を充実し、保健・福祉・医療を一体化した地域包括ケアシステムを早期に構築すること

(2) 請願の理由

- ①今年9月に市民にむけて行われた病院事業地域説明会において、中津川市公立病院機能検討委員会が答申した地域医療構想、新公立病院改革プランに基づいて、国民健康保険坂下病院の診療所化が案として示され、多くの市民から同病院の病院機能の存続を求める署名が提出されました。シミュレーションからは、深刻な医師不足と経営の悪化により維持していくことが困難であり、病床をなくして診療所として存続させていくことがベストの選択であるとプランでは示されていますが、中津川市民病院のケースと比べて、市が国民健康保険坂下病院の医師確保のために尽力した姿勢は感じられませんでした（市民病院の場合は100回、国民健康保険坂下病院の場合は15回）。また病床数を減らす根拠も、看護師不足のため閉鎖している病床を「不要病床」として計算していることも矛盾があります。経営の悪化の大きな要因は、医師及び看護師を含めた医療スタッフの不足にあると、署名した市民の多くは理解しています。平成27年3月に策定された「第2次中津川市地域保健医療計画」にありますように今まで以上に医師及び看護師を含めた医療スタッフの確保への努力をお願いします。
- ②国民健康保険坂下病院の存続に署名した多くの市民の思いは、診療所化ではなく、緊急の場合に入院を受け止めてくれる病院機能の存続です。今後団塊の世代が後期高齢者となる2025年には、今まで以上に入院病床が必要となるというシミュレーションも出ています。特に後期高齢者にとって療養病床の必要性はいうまでもありません。中津川市においてもそれは例外ではないはずです。現在でも看護師不足のために閉鎖されている病棟を機能させれば、経営も改善できるはずです。また、病院機能があるということは、災害時も含め多くの市民にとってこの上ない安心感を与えてくれます。多少の赤字があろうとも、国民健康保険坂下病院の病院機能を存続することを望みます。
- ③少子高齢化社会が始まっているといわれている今日、今まで以上に健康寿命の延伸が求められています。そのためには健康を維持し、病気の予防をはかる保健事業の充実が必要であり、病気に陥った場合も早期に対応できる医療が必要であり、運悪く心身に障害を負った場合にその支援を行う福祉制度の充実が求められています。これら保健、医療、福祉を一体のものとして、市民一人一人に光を当てる制度、地域包括ケアを充実させていくことを市民は希望しています。中津川市においてはすでに坂下地域において、国民健康保険坂下病院を中心とした地域包括ケアを目指した動きがありました。が、合併によって国民健康保険坂下病院の体制が大きく変わり、職員の意識も変わってしまったため、それらの動きは大きく後退しています。国民健康保険坂下病院と市民病院はもともとめざすもの、立ち位置が違っており、それをただちに一体化して運営していくことこそ無理があると考えます。現実には国民健康保険坂下病院では、「本当に患者の身になった対応をしてくれる。」といった病院利用者の言葉にあるように、その地域包括ケアをめざした気運がまだ残っていると考えられます。その気運をこの機会にさらに充実させ、地域包括ケアシステムを市全域に構築し、8万人のヘルスアップをうたう中津川市にふさわしい体制を早期に整えてください。

【反対意見】

・請願趣旨は理解できるが、医師確保について市はしっかりと取り組んでいる。内容の全体が坂下病院に特化している。市の医療を守るためには坂下病院だけでなく、市民病院を含めて地域医療がどのように進められるかが問題、市民病院も危機的状況がいつ来るかわからない。この請願書は、坂下病院を前提にした内容なので不採択。

【賛成意見】

・個人的にはシナリオ4、坂下病院を何とか継続していく、言葉は悪いが、切って捨てることは地域の皆さんに無理が生じる。地域医療の再構築として開業医の協力もいただきながら地域を大切に医療を目指していただきたい。

賛否の分かれた議案の議決結果

| 議案 賛否 | 会派 氏名 | 中津川自民クラブ | | | | | | | | | 新政会 | | | 市民ク | | 公明 | ネ | 共 | 議決結果 | | | |
|--|----------|----------|----------|--------|----------|----------|----------|----------|----------|---------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|----------|------|----------|----------|----------|
| | | 鷹見 憲三 | 大堀 寿延 | 勝 彰 | 岡崎 隆彦 | 吉村 浩平 | 柘植 貴敏 | 島崎 保人 | 水野 賢一 | 森 益基 | 吉村 孝志 | 粥川 茂和 | 鈴木 雅彦 | 三浦 八郎 | 吉村 久資 | 櫛松 直子 | 牛田 敬一 | 鈴木 清貴 | | 田口 文数 | 佐藤 光司 | 木下 律子 |
| 中津川市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正 | | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | 可決 | |
| 中津川市職員の給与に関する条例等の一部改正 | | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 可決 |
| 中津川市廃棄物の処理及び清掃に関する条例及び中津川市手数料条例の一部改正 | | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | × | 可決 |
| 平成28年度中津川市一般会計補正予算(第9号) | | ○ | 議長 | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | ○ | × | 可決 |
| 中津川市の地域医療の充実に関する請願 | | × | 議長 | × | × | × | × | × | × | × | ○ | × | × | × | × | ○ | × | × | ○ | ○ | ○ | 不採択 |

※市民ク：市民クラブ、公明：市議会公明党、ネ：市民ネット21、共：日本共産党

議会提出予定議案が本会議開催日前に掲載されます 市議会カレンダーも掲載しています

中津川市議会 Nakatsugawa City Council

- 映像配信
- 会議録閲覧
- 市議会だより
- 市議会カレンダー
- 議会への直行便

■ほっと ニュース
 □市議会6月定例会の日程が決まりました(16/03/29)
 □資料から(市議会関係)
 □中津川市議会提出予定追加議案(16/02/22)
 □中津川市議会(3月定例会)議員提出議案について(16/02/22)

カレンダーは
ここをクリック

①「提出予定議案」をクリックします。

- 本会議・委員会
会議の日程
提出予定議案
一般質問
- 審議結果
審議結果及び議員の賛否
- 議会広報
議会中継
会議録
市議会だより

②ご覧になりたい項目をクリック

- 3月定例会提出予定議案
- ・議案
 執行部提出議案、報道資料
 執行部提出議案その2、報道資料
 議員提出議案
 - ・補正予算
 一般会計、国民健康保険、下水道・整排水道・農業集落排水、特定環境保全公共下水道・介護保険・後期高齢医療、概要(報道資料)
 - ・当初予算(平成28年度)
 一般会計、国民健康保険、駅前駐車場、下水道・整排水道・農業集落排水、特定環境保全公共下水道・介護保険・個別排水処理・後期高齢医療、水道事業会計、病院事業会計、概要(報道資料)
 - ・請願
 請願文書表



予算決算委員会報告（補正予算）

(11月29日・12月16日・22日)

平成28年度 12月補正予算の概要

- ① 当初予算編成後の人事異動及び人事院勧告等による人件費の補正
- ② 国の第2次補正予算を含む国県補助金等を活用する事業
- ③ 寄附金を財源とする事業
- ④ 緊急対応が必要な事業



■補正を行う会計

| | |
|-----------------------|-------------|
| ●一般会計 | 1,742,102千円 |
| ●特別会計 | |
| ・国民健康保険事業会計（事業勘定） | △5,363千円 |
| ・国民健康保険事業会計（直営診療施設勘定） | △1,155千円 |
| ・下水道事業会計 | 12,887千円 |
| ・簡易水道事業会計 | 2,386千円 |
| ・農業集落排水事業会計 | 4,550千円 |
| ・特定環境保全公共下水道事業会計 | 27,876千円 |
| ・介護保険事業会計 | 7,163千円 |
| ●企業会計 | |
| ・水道事業会計 | △15,248千円 |
| ・病院事業会計 | 147,580千円 |
| 合計 | 1,922,778千円 |

① 当初予算編成後の人事異動及び人事院勧告等による人件費の補正

△35,187千円

- 職員給与費 人事院勧告による給料、手当の引き上げ
- 職員の異動等に伴う補正
- 共済負担金率の変更に伴う共済費の補正
- 議会議員 期末手当の引き上げ

② 国の第2次補正予算を含む国県補助金等を活用する事業

1,049,335千円

- 地域活性化推進事業
- 社会福祉総務事業
- 経済対策臨時福祉給付金給付事業
- 畜産振興対策事業
- 市有林整備事業
- 公民館を拠点とした地域づくり事業
- 橋りょう新設改良事業
- 青木斧戸線道路整備事業
- 国土調査事業
- 消防団員活動事業
- 特環下水道整備事業（苗木処理区）【特環下水道事業会計】

③ 寄附金を財源とする事業

17,579 千円

- 社会福祉総務事業
- 発明工夫展事業
- 観光推進事業
- 図書館資料管理事業
- ふるさとづくり応援基金管理事業

④ 緊急対応が必要な事業

877,410 千円

- 坂下病院繰出金事業
- 地域医療対策事業
- 生活安全対策事業
- 企業誘致推進事業
- にぎわいプラザ運営事業
- 観光施設管理事業
- 公民館総務事業
- 中津川公園管理運営事業
- 鉱物博物館事業
- 道路維持補修事業
- 消防団員活動事業
- 中学校施設営繕事業
- 保育所施設営繕事業
- 児童発達支援事業
- 総合政策事務事業
- 下水道管理事業【下水道事業会計】
- 農業集落排水管理事業【農業集落排水事業会計】
- 特環下水道管理事業【特定環境保全公共下水道事業会計】
- 損害賠償金【病院事業会計】

⑤ その他

13,641 千円

- 過年度精算
- 他会計繰出し金

■繰越明許費

- 一般会計 894,815千円

国の第2次補正予算に伴い財源確保したもののうち、事業完了が平成29年度となる事業

- ① 経済対策臨時福祉給付金給付事業 228,001千円
- ② 社会福祉総務事業 72,081千円
- ③ 畜産振興対策事業 358,028千円
- ④ 市有林整備事業 132,225千円
- ⑤ 公民館を拠点とした地域づくり事業 80,000千円
- ⑥ 国土調査事業 24,480千円

■平成28年度中津川市一般会計補正予算(第8号)に関する附帯決議

(賛成多数可決)

中津川市は、平成28年度中津川市一般会計補正予算(第8号)の款4衛生費、項4病院費の執行にあたっては、坂下病院の経営改善に努めるものとする。

平成28年12月16日

予算決算委員会

※附帯決議とは・・・委員会で議案を可決する際に、事業を執行する上での要望や留意事項について、当該委員会の意思を表明するものとして行う議決のこと。

常任委員会報告

◆総務企画委員会 10月24日

〔所管事務調査〕(政策推進部)

○地方創生に関する市の取り組み状況について
地方創生に関する市の取り組み状況について調査しました

地方創生(まち・ひと・しごと創生)とは

少子高齢化の進展に的確に対応し、将来にわたり活力ある地域社会を維持していくことを目的とした政策です。

市における展開

平成27年10月、「中津川市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、「しごとをつくる」「なかつがわに呼び込む」「結婚・出産・子育ての希望をかなえる」「地域をつくる・つなぐ、安心をつくる」を柱に具体的な事業を展開しています。

委員会のまとめ

各部門でできる限り数値的評価を行い、特に効果の不十分な事業は各担当部課への指導をしっかりと行ってほしい。
戦略の見直しも含めて、早期の対策を行いながら、最大限の成果を出すことを要望します。

◆文教民生委員会 10月28日

〔所管事務調査〕(文化スポーツ部)

○スポーツ施設の現状と課題について

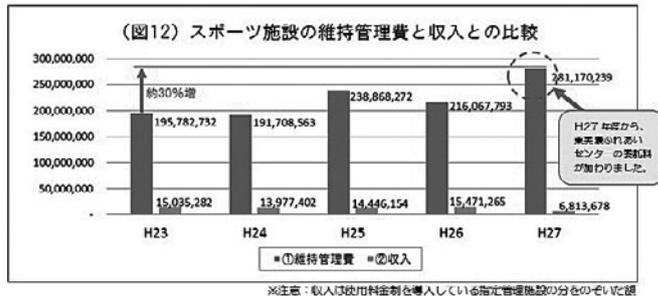
スポーツ施設の現状と課題について調査しました。

現状と課題

「一市民一スポーツ運動」を推進するためには、スポーツ施設をより多くの方に利用いただくことも重要です。しかし、利用者のニーズに配慮施設の充実に取り組みには多額な費用が必要となります。

委員会のまとめ

使用者のニーズと施設維持管理費のバランスを考慮した施設の統合や使用料の見直しを進めるよう要望しました。



◆産業建設委員会 10月20日

〔所管事務調査〕(商工観光部)

○中心市街地の活性化について

大型店舗撤退など中心市街地の状況に変化があるなかで中心市街地活性化基本計画について調査しました。

現状と課題

- ① 活性化基本計画(第1期)の成果
33事業のうち完了6事業、実施中23事業
- ② 活性化基本計画(第2期)策定に向けての課題
にぎわい拠点施設の整備や、歴史・文化など豊かな資源を生かして市街地の活性化を推進する必要がある。
- ③ 活性化の基本計画策定に向けた取組み
都市福利施設の整備、商業活性化、駐車場の確保

委員会のまとめ

中心市街地活性化基本計画(第2期)の早期策定と、計画を実施するための「まちづくり会社」を設立し、「新町ビル跡地活用施設整備」などの計画を確実に進めていくように要望しました。

常任委員会報告

◆産業建設委員会

10月20日

〔所管事務調査〕

(リニア都市政策部・基盤整備部)

○道路行政について

リニア岐阜駅周辺地域の道路行政について調査しました。

概要

- ①東濃東部都市間連絡道路(仮称) 地域高規格道路ICアクセス道路補助の新規事業採択を受け、段階的に整備する。
- ②市道坂本58号線ほか・市道坂本264号線 社会資本整備総合交付金を活用し、濃飛横断自動車道と一体的に機能する幹線道路を整備する。
- ③濃飛横断自動車道 平成28年4月 中津川工区を新規事業として採択を受け、整備する。
- ④坂本地区連絡道路・五ツ峯～中畑線 利便性の向上、緊急車両の通行が容易となり、土地の有効利用が図られる。

委員会のまとめ

リニアも含めて工事が一斉に始まると混乱する恐れがあります。市には工程を事前に整理し地元住民への十分な説明をお願いしました。

特別委員会報告

◆病院・医療等対策特別委員会

11月24日・12月15日・21日

○11月24日

第7回中津川市公立病院機能検討委員会の報告

* 両病院の最近の経営状況

* 9月実施の地域説明会での意見

* 新公立病院改革プラン構成(案)など

第1回、第2回中津川市公立病院地域協議会報告

* 中津川市の必要病床数算出方法

* 中津川市民病院と国保坂下病院の医師人事交流の可能性など

委員会のまとめ

中津川市の公立病院が存続可能となるような改革プランの策定などを要望しました。

○12月15日

第3回中津川市公立病院地域協議会報告

* 国保坂下病院と同規模黒字病院の比較

* 地域協議会から市長に提出された

「医療提供体制等に関する提言書」

特別委員会報告

当日は多くの傍聴者が見守る中、青山市長が出席し、各委員や会派の意向を聴取したいとの申し出があり、全委員が意見を述べました。

委員会のまとめ

各委員・各会派の意見は様々であり、特別委員会としても意見の集約は出来ないが、それぞれの思いを深慮してほしいと市長に伝えました。

○12月21日

新公立病院改革プランに関する市長方針について

当日は青山市長から市公立病院市民病院に関する5つの方針が発表されました。

①医師の招へいに注力、両病院の役割分担・

連携を強化 ②坂下病院の外來機能は医師確保が可能な診療科は残す。 ③坂下病院に

療養病棟を残し、急性期、回復期病床は市民

病院に集約、他2点の報告がありました。

この方針は平成30年度の姿で、今後の環

境変化等で必要な見直しは行っていくとの

事でした。

委員会のまとめ

今後の両病院の状況について引き続き監視していきます。

一般質問 ここが知りたい!

一般質問は、議員が市政全般について、その事務の執行状況や将来の方針等の報告・説明を求め、または質問することです。今回は11人の議員が行いました。その中から主な質問と答弁の要旨を紹介します。

質問等の詳細につきましては、市議会ホームページの「映像配信」または「会議録」をご覧ください。



平成29年度当初予算について

吉村 久資

問

平成27年度の決算状況を見ますと、財政力指数、実質公債費比率とも良くなってきましたが、経常収支比率は、年々少しずつ悪くなり財政の弾力性が小さくなっています。平成28年度は、財政調整基金を取り崩す状況であり、これから着手しなければならぬ大型事業も多くあります。平成29年度当初予算の編成方針と主要事業について伺います。

答

前期事業実施計画3年目の折り返しの年として、人口減少に伴う大きな課題の解決等これまでの事業の効果の検証をしっかりと行うこと、さらに中津川市に住んでよかったと思えるよう、目指す理想の姿の実現に向けて加速をしていくというところを予算編成の主なものとして指示しました。

重点的に取り組む事業としては、健康づくり、子育て支援、企業誘致、新衛生センター建設、中心市街地活性化推進、青木斧戸線などの道路整備、リニア中央新幹線関連などの事業を考えています。

(政策推進部長)



高齢者ドライバーの現状について

田口 文数

問

高齢者による事故が増加しており、平成18年は18.2%だったのが、平成27年には27%に上昇しています。来年3月に施行される改正道路交通法により、認知症の恐れと判定された75歳以上に医師の診断が義務付けられます。

①75歳以上の免許証の保持者は何人ですか。
②近年の免許証返納の方は何人ですか。
③高齢者の免許証返納者が増えると、買い物弱者が増加します。移動スーパーや宅配サービスを推進してみてはどうですか。

答

①3,459人です。
②平成21年から平成27年の7年間で345人が自主返納し、平成28年11月末までで82人が自主返納しています。

③現時点では、資金補助の予定はありませんが、高齢化社会を迎え、交通体系の見直しなどを検討しています。

(生活環境部長)



当市の病院・医療体制の堅持について

森 益基

問

①医師確保の為に今後必要と思われる手立てを伺います。

②運営資金の不足分について今後の予測を伺います。

③市全体の病院・医療体制を将来展望した上で、の民営化構想はありますか。

答

①医師の招へいについて、両病院長共通の取組み12項目を行っており、今後もこの取組みを引き続き行っていく予定です。併せて、新たな取組みとして、民営化による医師の招へいなども調査していきます。

②平成28年度末で約5億円、平成29年度以降も5億円以上の資金不足を見込んでいます。

③安定的かつ継続的に病院運営を行っていくために、常に公立病院の経営形態の見直しは必要であると認識しています。

(病院事業部長)



シティーセールスのターゲットの選定について

鈴木 雅彦

問

視察した流山市は首都圏への通勤者の多い住宅都市であり、税収の多くを個人住民税が占めることから、持続可能な発展を続けるためには、家族の定住による世代循環が必要であり、このことから共働きで子育てしている夫婦世代に住民誘致の目標対象を置いています。

市では、どのような目標対象を選定されているのか伺います。

答

人口構造の改善に有効な少子化対策、労働力対策を講じる上で主に対象となるのは、若者・子育て世代(15〜64歳の人口(生産年齢人口)割合が少ない)です。

(定住推進部長)



リニアを迎えるための街づくりに向けて、総合的な取組みについて

佐藤 光司

問

坂本地区在住者からリニア新駅をめぐる問題、リニア関連工事問題、土地区画整理事業問題など多数問題提起を受けました。

企業誘致推進室から中津川西部テクノパーク整備計画(案)が示されています。地元説明会の経過を見せていただくと住民の皆さんの声も聞き取れます。街づくりや開発に伴う問題点も多数指摘されることが予測されます。坂本地区全体のまとめが必要と思います。見解を伺います。

答

坂本地区の事業はそれぞれ担当部署で進めています。リニアを迎えるための街づくりとしては、全庁的に連携をはかりながら取り組んでいきます。

(定住推進部長)



優先的に進めなければならない環境施設の整備について

水野 賢一

問

①市長は7月28日、苗木交流センターでの区長会とまちづくり協議会との会議で、苗木地区を新斎場の候補地としたい旨を発言されました。なぜ苗木地区が相応しいとお考えですか。
②新斎場のイメージや周辺の環境整備をどのように考えておられますか。
③建設予定地がどこになるかと、地元要望が出されると思いますが、どのように対処されますか。

答

①苗木地区は、ふところの深いすばらしい環境を持つ市の重心地域であり、交通の便を含め候補地として相応しい地区であると思っております。
②自然公園の中に施設があるというイメージで整えたいと思っています。
③候補地となった地元の皆様には関係委員会等の設置をお願いすることも視野に入れ、丁寧な説明と対応を心がけていきます。

(市長)



リニア中央新幹線山口工区について

粥川 茂和

問

リニアは、国家プロジェクトでありながら、工費は民間負担と前例まれな形式です。また行政との関わり方も従来と異なり、関係地域では戸惑いがあるようです。特に地域役員さんは、JRと地元住民の間にあって要望活動にご苦労が多いようですが、市はどの様な立ち位置で対応しているのか伺います。

答

市は窓口となる部署のみでなく、内容に関係する各部署が一体となって課題の認識を深め、その中で市がすべき役割を果たしていかなければならないと考えています。またJR東海に対し、要望の実現が「なぜ」難しいのかをしっかりと説明して頂かないと、この先前に進むことが出来ないことを申し上げております。

(リニア都市政策部長)



坂下病院の診療所化について

木下 律子

問

①坂下病院を支える会で集約している記述式アンケートに応えた人が1100人を超え、市長と議員に届いています。内容の多くが「診療所化をやめて」ですが、この声にどう応えますか。
②坂下病院の診療所化の提案をめぐって、市民は不安と混乱で揺れています。市長の責任を伺います。

答

①皆様から寄せられた多くのご意見があることは承知しています。人口減少、高齢化に伴い、医療を取り巻く情勢が変化し、地域においては不安を抱かれています。公立病院機能検討委員会から提言はいただいています。今それぞれのご意見の中で、まだ検討を続けているところです。
②市長としての責任については、将来、市の医療体制が充実した中で維持できること、これを最優先に考えなければならぬと考えています。

(市長)



小規模・零細事業所の創業に対する支援の現状と今後について

島崎 保人

問

①創業した事業所や創業して間もない事業所または、新たな技術、新商品を開発した事業所などが、自らのPRや経営改善のきっかけとなるような事業所展示会などの開催は、異業種間の交流、業績の向上、更には地域経済の発展に繋がると思いますか、お考えを伺います。
②今後、小規模・零細事業所の創業に対し、予定している支援、取組みがありますか。

答

①異業種間の交流は新たな販路拡大につながり、地域経済の発展に効果があると考えています。引き続き、販路拡大補助金に加え異業種交流展示会での中津川ブースの設置など、異業種間交流を支援していきます。
②事業主の高齢化や後継者不足など厳しい環境下において、中津川商工会議所、中津川北商工会と協力しながら、中小企業・小規模企業振興条例の制定に向け、準備を進めています。

(商工観光部長)



情報通信ネットワーク整備事業について

三浦 八郎

問

市情報通信ネットワーク整備事業による光ファイバー網の整備は平成18年に着手し、平成22年3月をもって終了しました。当時は高速通信環境を整備することにより情報通信格差を解消したとあります。しかし、完成から6年が経ち、平成27年度決算によると一般財源と地方債から多くの繰入を行っています。
①現在の状況について伺います。
②今後の取り組みについて伺います。

答

①現状は、市民が快適な高速インターネットサービスを利用できるよう、NTT西日本に情報通信ネットワーク設備の貸付けを行い、NTT西日本によるサービスの提供を行っています。
②今後の取り組みとしては、来年度のNTT西日本との貸付契約の更新時に、貸付け単価の交渉を行います。また、新規申込者の負担金の徴収についても、検討します。

(総務部長)



動物愛護について

吉村 浩平

問

①市内にはボランティアで猫の里親探しを行っている団体はありますか。
②県内外にも、不妊・去勢手術に対する補助を行っている市もあり、その数字を見ますと成果は出ており、野良猫の数の減少と市民の苦情・トラブルの減少がみられます。当市でも補助金という方法について考えていただけませんか。

答

①NPO組織で行っている団体があることは把握しています。
②飼い猫に対する現状把握ができないため、今のところ、去勢・避妊手術の補助金は考えていません。
今後、恵那保健所が中心となり、管内獣医師、中津川市、恵那市が連携し引取りや去勢・避妊手術に関する対策を行うための「連携会議」を開催することになっており、恵那保健所で調整中です。

(生活環境部長)



総務企画委員会先進都市行政視察報告

◆福岡県筑後市

「定住促進制度」について 10月18日

【概要】

同市は2015年度、田舎暮らしの本が実施した「移住者受け入れ人数ベスト100」の第3位にランクインしており、人口増加のため積極的な施策の展開を行っています。

移住定住促進施策の基本的な方向性や方策を明らかにするため、市長をトップとする「庁内定住促進推進委員会」、有識者で構成する「定住促進行動計画推進会議」で討議を重ね、平成25年3月に「筑後市定住推進促進行動計画」を作成しました。

また地元プロ野球団と地域包括連携協定を結び、市の活性化を進めています。

【委員会のまとめ】

行政の枠を超えた部分で、「定住促進行動計画推進会議」での議論が生かされているように感じられました。また転入の促進及び転出の抑制の目標が明確になっていました。

◆山口県周南市

「市民活動促進事業」について 10月19日

【概要】

周南市の地域づくり推進計画は、周南の価値を高める「共創のまちづくり」を進めるため、同計画の基本施策である①地域コミュニティの活性化、②市民活動の促進を推進するものです。

同計画は「今後5年間の地域づくりの目標」、「具体的な施策」を定めたアクションプランとして策定されています。

また「共創のまちづくり」の基本コンセプトは、市民と行政、市民と市民が対話により連携し、地域の価値を創りだしていくことであるとの説明でした。

【委員会のまとめ】

地域の人々が、まちづくりに於ける課題を探す流れが出来ていて、共創の意識が進んでいるとの印象を受けました。

また同市の特徴は、まちづくりを進める総合プロデューサーがいることです。

◆岡山県玉野市

「移住定住施策」について 10月20日

【概要】

玉野市における人口増加の取り組みの特徴は、「IJU(いじゅう)コンシェルジュ」の設置です。

これは行政に代って移住を支援する組織で、県外からの移住の女性がリーダーが自身で、困ったことや地域の人に親切にされて嬉しかったことなど自身が経験したことを実践しています。

活動は①空き家情報の収集・提供②生活習慣、地域資源等の情報提供③各種問い合わせ対応④移住後の相談対応⑤移住体験ツアーの開催⑥移住者ニーズの把握⑦市の移住支援補助金等の情報提供その他の移住支援と、きめ細やかな支援を行っています。

【委員会のまとめ】

「IJU(いじゅう)コンシェルジュ」とはI・J・Uターンの案内人で、結婚促進活動など行政では出来ない取組が行われており、中津川市でも導入の検討が必要です。

文教民生委員会先進都市行政視察報告

◆兵庫県淡路市

「地域の実情に応じた効果的な介護予防の取組み」について 10月15日

【概要】

淡路市では高齢化率の上昇と要介護認定者数の増加に対応し、介護保険サービス関連の整備を進めていましたが、平成22年からは住民主体のいきいき100歳体操に取り組んでいます。

目的は虚弱高齢者や後期高齢者の参加を進め、筋力の向上により要介護を防ぐとともに、高齢者を支え合う地域づくりを目指すものです。

この体操は高知市が考案したもので、全国各地に広がりを見せています。体操は重りを使った筋力運動で、6段階に調節可能な重りを手首や足首に巻きつけ、イスに座ってゆつくりと手足を動かします。

【委員会のまとめ】

淡路市からDVDを借用してきました。関係部署に見ていただき、出来る地域から、同様の試みをはじめよう提言します。

◆大阪府岸和田市

「学童保育（チビッコホーム）」について 10月26日

【概要】

岸和田市では昭和41年、大阪府立勤労婦人ホームの施設内で学童保育が始まりました。やがて昭和55年には小学校の空き教室を利用した週5日制のチビッコホームが始まり、現在では公設公営で36ホームが運営されています。

なおホームが開設出来ない1校には、タクシー送迎に対応しており、利用者負担金は月額7千円（第2子以降は3千5百円）、別途におやつ代や教材費同2千円、18時以降の延長保育料同1千5百円、傷害保険料年間800円としています。

【委員会のまとめ】

中津川市で直ちに公設公営での運営は難しいと考えますが、国の定めている基準どおりの予算化の実現に向け提案します。

◆兵庫県伊丹市

「ことばと読書を大切にする教育」について 10月27日

【概要】

伊丹市では国から「構造改革特区」の指定を受け、平成18年4月から小学校では「ことば科」、中学校では「グローバルコミュニケーション科」を始めました。

その後、文部科学省の関係規則の改正により、これまでの特区は廃止され、新たに「教育課程特例校」として、17小学校全校で3年生から6年生を対象に実施しています。

その他、学校司書の全校配置、土曜日を利用した中学校英検特別講座、図書館と連携した「ビブリオバトル」*等を実施しています。

【委員会のまとめ】

寄付を除き、各小中学校図書充足率100%の達成、学校司書の配置の更なる充実、中央図書館と連携した「ビブリオバトル」*、地域力を活用した中学校英検合格講座の開講等の提言を検討します。

※ビブリオバトル：参加者同士で本を紹介し合い、もつとも読みたいと思う本を投票で決める催し。

産業建設委員会先進都市行政視察報告

◆千葉県佐倉市

「下水道事業」について 10月12日

【概要】

佐倉市の下水道事業は開始から50年が経過し、維持管理して行く時期となっています。

そこで下水道管の長寿命化を図りながら、老朽管の更新を計画的・効率的に進めることが大きな課題となってきました。

将来に渡り事業を持続的に推進するため、同事業会計に地方公営企業法を適用した企業会計に移行し、費用負担を明確にすることで、減価償却費を含めた真のコスト意識がされています。これにより、市民に分かりやすい会計報告を行なっています。

【委員会のまとめ】

中津川市においても下水道事業の経営健全化に向けての施策は重要な課題です。

そのためには佐倉市を参考に、下水道事業会計を企業会計へ移行し、経費の明確化を進めるとともに、市民の皆さんに理解を深めて頂く必要があります。

◆茨城県守谷市

「下水道事業」について 10月13日

【概要】

守谷市の下水道事業は、浄化センターの維持管理業務の経費を削減するため、平成12年から民間のノウハウ活用した包括管理業務委託を採用しています。

同委託による効果は、①職員人件費の削減
②薬品、消耗品等の調達効率化による維持管理費の削減、③機器運転方法の改善による電気料金の削減等があります。

このことによる同市の具体的な効果は、①コストの7%削減の達成、②一般会計からの操出金額が基準を下回っていることです。

【委員会のまとめ】

中津川市では、一般会計から下水道事業会計に多くの操出しを行なっています。

今後は包括管理業務委託のメリット、デメリットを考えながら採用を検討する必要があります。

◆埼玉県秩父市

「森林・林業振興の取り組み」について 10月14日

【概要】

秩父市では林業振興施策として、山を蘇らせる仕組みづくりの構築の実現を目指し、①奥山の森エリア②人里の森エリア③中間エリアに分け、「未来へつなぐ森林資源」「顔の見える家作り」「知的好奇心を満たす体験型森林・林業の推進」「施業の集約化でコスト削減」「里山を活用した収入間伐の普及」「カエデ等有用広葉樹の育成と利活用」「獣害対策（シカ柵の設置等）」「企業や団体による森づくりの支援」の8つのテーマを設定し、それぞれの地域の実情に合わせた取り組みを推進しています。

【委員会のまとめ】

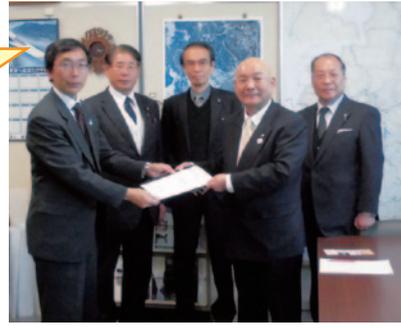
中津川市の林業振興は、秩父市のように種々の施策を複合的に組み合わせ、各地域の実情に合わせた施策として組み立てることが必要です。

そのため、各地域の状況を調査し長期的な計画を立てることが重要です。



東濃森林管理署のご案内で市内の国有林に整備されたヒノキ備林を視察研修しました。(11月)

県境近隣市町村議会議長会で主要地方道中津川・田立線の整備促進など県境における交通体系整備の要望活動を行いました。(12月)



庁舎耐震工事のため、12月議会は健康福祉会館を仮設議場としました。(12月)



議会開催状況 10月7日～12月22日

- 本会議 (4回)
- 総務企画委員会 (3回)
- 文教民生委員会 (2回)
- 産業建設委員会 (2回)
- 予算決算委員会 (3回)
- 議会運営委員会 (4回)
- 議会改革特別委員会(協議会含む) (1回)
- 病院・医療等対策特別委員会 (協議会含む) (7回)
- 議員連絡協議会 (1回)

平成29年3月定例会の日程

- 2月27日(月) 10時 本会議(初日)
- 3月8日(水) 10時 一般質問
- 3月9日(木) 10時 一般質問
- 3月13日(月) 10時 文教民生委員会
- 3月14日(火) 10時 産業建設委員会
- 3月15日(水) 10時 総務企画委員会
- 3月16日(木) 10時 予算決算委員会
- 3月17日(金) 10時 予算決算委員会
- 3月21日(火) 10時 予算決算委員会
- 3月22日(水) 10時 予算決算委員会
- 3月28日(火) 10時 本会議(最終日)

編集後記

▼今定例会は本庁舎が耐震工事中のため、健康福祉会館4階を仮設議場とし、議席の近くに設けられた傍聴席は満席の日もありました。

▼予算決算委員会では、委員間の自由討議の発議により活発な議論が行われました。

▼自由討議は、市民の皆さんに解り易い議会となるよう導入された制度です。

▼今後もオープンで解り易く、市民参加型の議会を目指して参ります。ご意見ご要望をお寄せください。



仮設議場での12月定例会